

# 私設図書館

後期試験もせまり、学生のみさんの多くは勉強場所を求めて大学図書館や静かな喫茶店などに行ってみたり、お気に入りの自習室を見つけてよく足を運んでいるのではないのでしょうか？ 今回はそんな自習室としてもお勧めの「私設図書館」をご紹介します。

京大から東に進み、今出川通と白川通の交差点の少し手前に、周りとは少し雰囲気の異なった建物が建っています。これが私設図書館です。京都の和の景色の中にたたずんでいるその姿からは、見ているだけで何か異世界な感じを受けます。

中に入ると左手に受付があり、そこで来客カードを受け取ります。次に自分で気に入った席を見つけて座席に座れば、あとは心ゆくまで読書・勉強・休憩に専念できます。料金（下表）は、退出するとき受付で払えばOKです。



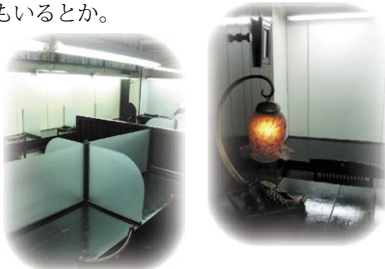
▲ 建物の外観

受付 ▶

この私設図書館は図書館という名の通り一般書から辞書にいたるまで合計3,000冊以上の本を、順次入れ換えながら閲覧できるようになっています。またマンガや新しい雑誌も置いてあります。ただ利用者は本を読むよりは、勉強に集中したりパソコンで作業したりと、自習室として利用する人が多いそうです。

利用者は小学生から80歳の高齢者にまで実にいろんな方が利用されています。高校生や大学生が多くて、特に試験シーズンになるといつもより多くの人たちが私設図書館にやってきます。リピーターの人も多

く、なんでも学生時代から利用して、親となった今なお子どもを連れてやってくる方もいるとか。



このように人々を引きつける私設図書館の大きな魅力の一つに、利用者に配慮した適度な温度設定や極力音を立てないように

工夫された環境があります。また出来るだけ自由にという方針から、何でも持ち込みが許されていて、まわりに迷惑をかけさなければ、中に飲食物を持ち込んで食事をすることもできます。

しかし、それ以上に利用者を惹きつけるものが私設図書館の雰囲気です。落ち着いた雰囲気の中、いろんな人が各々の作業に集中している。もちろんお金を払ってるから無駄にしたくないという気持ちもありますが、目的をもって集中している人々に囲まれ、その姿を見ていると励まされ、やる気も湧いてきます。

経営者の田中さんにお話を伺いました。— 最初この図書館は一般の図書館と同じように本が好きな人々の憩いの場として開館されました。ですが京大など学術施設が近い土地柄か、読書を楽しんだり休憩するよりも、勉強や作業に利用される方が多くて今のような私設図書館のカタチになりました。また私設図書館に蔵書されている本の中には、お客さんに寄贈していただいたものも多くあり、本

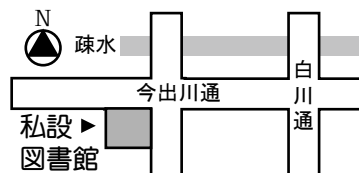


にいろんな意味でお客様に支えられて私設図書館は運営されています。—

田中さん達が経営を続けていく上で、やはり資金などの苦勞が少なくないそうです。しかしそれでもお客さんたちの励ましや志望校合格など知らせを聞くとうれしくて、まだまだ私設図書館を続けていきたいと語っておられました。

勉強やパソコンを持ち込んで作業してもいいし、また漫画を読んだりちょっと休憩してもいい。京都の喧騒から隔離されたこの空間、一度味わってみませんか？

## ▼ 周辺地図



## ▼ 料金

2時間以内	250円
4時間以内	350円
5時間以内	450円
7時間以内	550円
8時間以内	650円
10時間以内	750円
10時間以上	850円

## ▼ その他

年中無休  
(年末年始等除く)  
営業時間。  
9:00~24:00  
その他、回数券も  
販売中  
座席予約も可能。